

【3回目 19時～】

1. 開催主旨〈企画財政部長〉

- 今回の説明会の開催趣旨でございますが、山本景市長が市長就任時に掲げた、第一中学校における小中一貫校ではなく小中別に整備するとの方針のもと、現契約の受託事業者である戸田建設等との協議を踏まえた検討状況につきまして、昨年12月に市民説明会を開催させていただきました。
- その他、地域や関係団体の皆さんへも説明や意見交換をされ、これらを踏まえて新たな提案を取りまとめ、市議会へもお示しをしましたことから、本日、山本市長より提案内容についてご説明をさせていただくものでございます。

2. 市長からの説明〈市長〉

平日の夜、大変寒い中であるにもかかわらず説明会の開催を企画いたしましたところ、お越しくださりありがとうございます。

本来であれば広報かたのなど、より広く周知できる方法でお知らせをしたいところでしたが、広報かたのの配布については最低2ヶ月の期間がかかるなどの要件もありまして、今回についてはホームページにて告知をし、市長が個人でビラを作成いたしまして配布して周知を図り、開催した次第でございます。

お手元の資料に沿って、私より説明をいたします。

なお、今回の市民説明会としては、昨日2回と本日の合計3回ではございますが、別途、議会、教育委員、校長、その他PTAへの説明などを行っており、別個、私を呼んで説明会を開いたりということもありますので、この場にいらっしゃる方におかれましては、4回目であったり3回目の方も多いと思います。

説明会の目的といたしましては、幅広い市民の皆さん、ご関心のある方に来てもらって、そういった方々の意見を拾って取り入れたいという趣旨のものでございます。同一の方が何度も何度も説明会にお越しになって、繰り返し手を挙げて、自分の意見を言うために行っているものではございません。

本日に至った背景を改めて私より説明いたします。

前市政におきまして、第一中学校区における施設一体型小中一貫校の話が進められました。この施設一体型小中一貫校に関しましては、住民の皆様や保護者の皆様の不安や反発の声も非常に大きかったので、私は約2年前に松村議員とともに住民投票の実施を求める条例案を議会に提出をいたしました。が、否決されました。

その後、約2年前の4月には、改めて住民の直接請求の署名を集めて住民投票の実施を求める動きもありました。7,000人以上の市民の方が直筆で署名と捺印等をいたしまして、その後6月の議会に当該条例案の提出もなされましたが、議会は否決いたしました。

そして約1年前の12月議会において、戸田建設等と仮契約をする議案が提出され、議決されました。このときのポイントといたしましては、デザインビルドといたしまして、設計や解体だけではなく建設工事も含んだ契約にて議決されております。

これに建築を含んでいないのであれば、市長が変わった段階で、この契約はやめ、ということと終えることができたのですが、そういう状況にはないということです。

その後、この議決がされた後に、私は交野市長選挙への出馬を決めまして、公約の三つ目に記載があったのが、小中別々で整備という話でございます。

交野小学校が残っているのであれば、そちらの増築をして10億円程度で済む話でしたが、時期的に取り壊しが終わっている時期なので、交野小学校は建て替え、第一中学校については、速やかに改修工事を行うという内容での公約をしておりました。

私が昨年9月4日に当選をいたしました。9月18日に市長として就任いたしまして、9月20日に初登庁したその日のうちに、戸田建設と同グループに対し、契約の変更に関するお願いをいたしました。

その後、議会との話も含めて、12月に市民説明会にて改めて小中別々で整備することの費用やスケジュールに関して市民説明会等を開催いたしました。

PTAに対しても同じように説明を実施いたしました。その際、事前にPTAにて、主に小学校の保護者の方を対象に改めてアンケートを実施しており、集計結果が私に提出されました。

今でもやはり小中一貫校については、強い反対のご意見がありました。ただ、以前と違って、おおよそ三つに意見が割れていました。要は、小中一貫校に「賛成」と「反対」と「わからない」の三つに分かれているという状態でございます。

今の反対をされている方の意見としては、お金のところに関しては、実は保護者の方はそれほど心配をしているというわけではなく、むしろグラウンドが狭い、プールがない、そもそも小中がなんで一緒なんだ、という主に三点に対して、不安を理由に反対をされていることがそのアンケートでも明らかとなりました。

それらの点も含めて、私は今でも小中一貫校、施設一体型については反対の立場でございます。

逆にこれまで教育委員会はそれらを推進してまいりました。それぞれ特定のところの考え方等は異なっておりますが、ただ議会の議員の賛否の状況、置かれた契約の状況等を総合的に判断いたしまして、改めて市民の皆様、保護者の皆様に対しましては新たな提案をすることとなりました。

なお、これから資料に基づき説明をいたしますが、この時点におきまして、新たな提案を含めて三つのうちのいずれにするのが決まっているというわけでもございませんし、説明会が終わった時点において、どれにするかが決まるというものではございません。まずは説明をいたしまして、皆様のご意見を聞くという趣旨でございますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

反対意見の方が気にされているグラウンドが狭いところに関しましては、給食センターの跡地を活用し、サブグラウンドが整備される予定ですが、こちらについても普通の学校一つ分の面積があるというわけではございませんので、敷地の拡張について検討をしているところでございます。なお、検討とか努力とかそういうことを書いておりますが、いろいろなリスクなども考えてこういう文言としておりますことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

まずは、隣接している土地から優先的に協議をしたいと考えております。現時点において全く協議をしていないというわけではありませんが、相手のある話でございますので、喋れることと喋れないことがあるということは、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月に運動場も広がっているのがベストですが、なかなかそういうわけにも参りません。開校後、直ちに広がらないのであれば代替手段が必要だと考えております。

いきいきランドのグラウンドにつきましては、平日の日中の時間帯は相当空いております。こういったところを主に中学生が利用したり、もしくは私部公園を利用したりということを検討しているところでございます。もともと空いている場所ですので、利用者が使えなくなるという可能性は極めて低いと考えております。なお、一中の跡地に関しては、土地利用の工事等もありますので、一定使えなくなる期間はあるのかなというふうには考えております。

そうすることで、小学生の子供たちが放課後外で遊んだり、もしくはクラブ活動において、できるだけ悪い意味での影響が出ないようにしたいと考えております。

プールに関しましては、やはり親御さんからすると、学校にプールがあって普通だと思っている方が多いと思います。それを理由に反対されている方が多いので、当初、私といたしましては、敷地内にプールの建設を目指すということを考えました。

ただ、プールを地面に建設すると、そもそも狭いと言われている運動場の面積がさらに狭くなってしまいますし、追加で土地を買ったところで、買った部分も結構な部分がプールになってしまうことから、次に建物の上への設置を検討いたしました。

ただ、校舎の上に建設しますと、荷重が非常にかかりますし、屋上に非常に重いものを建設することになり、耐震性など様々な影響が出ますことから、体育館の上も考えました。体育館の上に関しても、斜線規制や日陰の規制などいろいろな規制がかかってきまして、25mプールの建設は困難ということで、こちらについては断念せざるを得ませんでした。一旦、いきいきランドのプールを使うこととなります。

この件に関しては、そこまで歩いていくのかというご意見も頂戴しているのは事実です。重く受けとめまして、市といたしましては、別途市内の全小中学校で利用できる温水プールの整備について検討したいと思っております。

温水プールを建設するとなると、建設費用としては10億～20億程度の費用が想定されますが、そのうち半分については国からの補助金が得られますし、普通の学校にあるプールを一個建てても2億円はします。各学校のプールが古くなっているのですべて建てるとなると、もっと金額がかかってしまいます。

かつ、やはり交野市内全体の教育の公平性を考えますと、一中校区の子どもたちだけが温水プールというのは不公平ですし、またいきいきランドの利用をずっと続けると、今いきいきランドをご利用されているお年寄りの皆さんへの影響が懸念されるところでございますので、何とか別途、温水プールの整備をしたいと考えております。

また、歩いてプールに行くことに関して不安を持っている方もいらっしゃいますから、できましたら私といたしましては、バス等での送迎も含めて検討したいと思っております。お金がかかるという意見もあるかもしれませんが、バス等車両を購入してそこに専属の従業員をつけたとしても、年間で言ったらそれほど大きな財政負担になるというものではございません。

続きまして、小学生と中学生が一緒の校舎で学ぶことに関して、私といたしましては、施設の併設型あるいは小学校の建物と中学校の建物が別で隣接している程度だったら良かったのですが、ほぼほぼ実施設計が終わっている段階であり、その変更については難しい状況でございます。

ただ、これまでの皆様からのご意見を受けまして、下足場については1・2年生とその他で分けられており、保健室に関しましては、確かに一つだけけれども、分けることができる構造になっています。また、職員室からそんなに遠くない場所にあるといった、これまでの皆様のご意見も含めた対応がなされております。

トイレに関して懸念される声についても当然聞いてはおりますけれども、少なくとも今の極めて古いトイレよりも、そして他の交野市内の全ての小中学校よりも綺麗なトイレが確保されますし、普通の児童生徒が一日に利用するトイレの回数を考慮し、基準を満たしたトイレの数になっているという状況でございます。

避難に関して申しますと、そもそも私個人といたしましては、この建物で避難の必要性が生じるような災害が起きる可能性は極めて低いと思っております。

南海トラフ巨大地震が30年のうちに70%から80%以上の確率で起きるとするのは、確かに間違いない事実でございます。ただ一方で、震度6程度の地震で、耐震の建築基準法に基づいた建築をされた鉄筋コンクリートの建物が非常に大きな被害を受けるというのは、ほとんど考えられないと考えております。

一つの学校に千人以上詰め込むのがおかしいという意見もあるかもしれませんが、そもそも建物自体は極めて頑丈で堅牢な建物となっており、避難の必要性自体発生する可能性は極めて低いと考えておりますし、階段の配置等につきましても、これまでのご意見等も含めてより安全性の高いものになっていると思っております。

ただ、やはり小学校と中学校が一緒なのはどうかという方も多くいるのは間違いのない事実でございますので、今後についてもそういった不安や不満の声に対してはきちんと耳を傾け、解消を図りたいと考えております。

費用負担に関しましては、これまで私も市も、耐震工事を実施している交野小学校の面積部分については国庫補助金がもらえないという説明をしておりましたが、今回イレギュラーなのですが、文部科学省から当該面積につきましても、国庫補助金がもらえるという話がありました。

結果といたしまして、当初6億円を見込んでおりました国庫補助金につきましては、18億円に増え、どの案でやるよりも市の負担については圧縮されるということが明らかとなりました。これについては極々最近わかった話でございます。

5ページが終わりまして、次のページに大まかなスケジュールを記載しております。

新たな提案というのは、ベースの建物についてはこれまでの施設一体型小中一貫校の建物を利用するというものでございます。ですので、開校については令和7年の4月であることに変更はございません。

ただ、敷地の拡張ともなりますと地権者の方との協議、その後の工事もございますことから、ちょっと遅れる可能性もあるということで1年遅れると、令和8年という記載をしております。市といたしましては隣接地をまずは優先し、どうしても隣接地が確保できなのであれば、他にも候補地がありますので、必ず敷地の拡張については、取り組むたいと思っておりますのでございます。

右側のメリット・デメリットについては、保護者説明会の際、そういったものが必要ではないかのご意見を受けまして一定記載をした通りでございますが、小中一貫教育の部分に関しましては、やはり懸念として、一貫校にすると小学校6年生のリーダー性に影響を与えるのではないかという指摘があります。

市としては、一定メリハリをつけさせ、こういったデメリットができるだけ生じないように努力していきたいと思っております。

以上が私からの説明でございますが、私といたしましては、現時点におきましても施設一体型小中一貫校はやるべきではないという意見でございます。過去の議員時代もそうですし、市長選挙の時もそのような考えに基づいて立候補しており、また、所信表明においても、そのことは表明している通りでございます。今後もその考え方に変わりはありません。ですので、第三中学校区における20年後に小中一貫校建設という方針に関しましても、教育委員会に再考を求める予定をしているという次第でございます。

ただ、この一中校区の施設一体型小中一貫校につきましては、冒頭に話をいたしました通り、約1年前の12月議会において建設工事を含んだデザインビルドにて議決をされています。1回議決されたことを変更するとなると、再度議会の議決が必要になり、私の他の公約と比較をして、難易度が極めて高いという状況であります。

市役所を移転しませんという話だったら、移転の条例を議会に出さないとか、もしくは当該予算を作らないといった対応ができます。学童の民営化の問題も、当該予算もしくは条例を議会に出さないという対応ができますが、この一貫校に関して申しますと、当然議会で議決をしておりますから、再度議会の議決がなければ契約については変更ができないという大変厳しい状況にあります。

こうした状況も含めて今回の提案に至った次第でございます。

皆様からのご意見も含めて、また保護者の皆様からの意見も含めて、最終的にどうするのか、次にどうするのかということについては、また改めて皆様にお知らせをしたいというふうに考えている次第でございます。

以上説明といたします。よろしくお願いいたします。

3. 質疑応答

〈市民 1〉

今回の新たな提案において、グラウンドを拡張するという方向性が出ていますが、具体的にどうなるのか、どれだけの敷地面積があるのかわからず不安です。

いきいきランドや私部公園を利用するというお考えですが、いきいきランドのグラウンドは、すべての住民が使える市民グラウンドであって、そこで生涯スポーツなどをやっていこうという趣旨の施設です。それはプールも同じです。市民に迷惑がかかることはやめて、学校教育は学校の中でというのが本来の基本だと思います。

私部公園についても、2～3年前の説明会で教育委員会が「私部公園は法律上使えない」という回答をしていたのに、今回の提案では使えるとなっており意味がわかりません。違反しないなら、その時に対策をとっておけばよかったじゃないかと腹が立っています。

プールについて、いきいきランドのプールを利用するかもしれないという話は、この小中一貫校の説明会で出てきたものであり、一般利用者は知りません。また、以前に私から教育委員会にいきいきランドのプールの状況について陳情しましたが、二十数年間大きな改修をしておらず、かなり痛んでおり、水温調節もうまくできなくなっています。その点は、教育委員会も認めていたはずです。

そのプールを令和7年の4月から利用するというなら、完全にリニューアルするくらいの計画が必要で、具体的なスケジュールを示さないといけないのに、何もできていません。新たな提案で市長が言われた、新しいプールをどこかにつくるとするのは、一つの手だと思います。ただ、これに関しても、教育委員会が本当にちゃんとできるのか不安です。

避難所の問題についても、私は教育委員会に、第一中学校も長宝寺小学校も無くなるのなら避難所をどうするのか、住民の意見を聞いて考えてほしいと言っていました。教育長は、市全体で考えなくてはいけないことなので、必ず考えて答えを出すと書いていたのですが、住民の意見はまったく聞かれませんでした。

交野小学校が無くなる時も、4月から無くなることが決まっていたのに、3月になってようやくいきいきランドが避難所になるという連絡がありました。そういう感じがとても不安です。

〈市長〉

私は、社会教育施設と学校施設は分けるべきだと思っています。ただ、分けすぎると逆に市民にとって悪くなる場合もあるということは、理解してほしいと思います。

例えばいきいきランドのプールであれば、日中も高齢の方などが利用されており、そこを子どもたちが利用するとなると、やはり利用面でも不安がでると思います。一方で、いきいきランドのグラウンドとなりますと、利用しているのは限られた方になりますので、そういう意味での悪影響は極めて少ないと考えております。

過去に、倉治公園のグラウンドは社会教育施設なのでお金を取って貸すからという理由で鍵を閉めた結果、地域の子どもたちがボールで遊ぶ場所が無くなったということもあります。社会教育施設と学校施設について明確な線引きをしていいケースと良くないケースがあるため、慎重に、柔軟に検討したほうが全体として良い結果になると考えています。

グラウンドの拡張については、前黒田市政の頃からそういった話があったものの、実際に交渉したのは私です。教育委員会に言われて話しているわけではありません。私としては、空いている社会教育施設を子どもたちが使って、全体として皆さんが喜んでくれるならいいと思っています。

また、いきいきランドの指定管理者についても、現在の電力の高騰もあり、運営が厳しい状況ですので、そのグラウンドを使うということは、全体的には最適であると考えております。

プールに関しては、市として「ESCO事業」という取組みをいきいきランドに対して行っています。建設以来、根本的なリニューアルが行われていなかった熱源等について、来年度にかけて、どの熱源でどのようなやり方がいいのかということを検討しており、令和6年度には一定作業が行われる予定になっているので、令和7年4月にはちゃんとした状態でのスタートになると思っています。

ただ、費用面が約10億円かかり、非常に高額なものだからこそ、私といたしましては、一つの学校だけ温水プールをつくるというのは不公平だと考えています。各学校のプールの老朽化もかなり酷い状況であることから、プールは別に整備をするという提案となった次第でございます。

また、教育委員会から私部公園のグラウンドを使うのが違法であるといった旨の発言があったかどうかについては、私が発言した内容ではございませんので、この市長説明会では回答は控えたほうがいいのかなと思っています。改めて私から教育委員

会へは確認をいたしますし、質問者様からも教育委員会に確認をされたほうがいいと思います。

避難所の指定の変更が遅かったのは、確かに私も気にはなっていたところです。ただ、青山や私部の一部地域に関しては、仮に第一中学校が全く別の施設に変わって避難できなくなったとしても、新しいみらい学園の建物といきいきランドがありますから、相当安全な建物が、あまり広くないエリアに二つもあることになります。私は一貫校に対して反対の立場ではございますが、避難所という点では、相当恵まれている地域だと考えております。

〈市民2〉

一貫校については大きな問題があると感じております。市長は小中別々でと言われていたので大変喜んでいましたが、現在の状況では、グラウンドもプールも未定で、新たな提案があっても結局は施設一体型になりそうで、子どもたちがかわいそうだと思います。

確かに中学生が小学生に優しく接する一面もあると思いますが、一方で、中学生になると自分のことで精一杯になって、他人の状況をサポートすることまではできない状況になります。中学生はクラブで自分を発散させる一面もあり、その点でもいろいろなトラブルが起こるのではないかと思いますので、小学校部分と中学校部分を分離できるような設計に考え直してほしいと思います。

また、一度学校を建設すると、その建物を60年ほど使い続けることになるのが気になっています。開校を急いでいるPTAや地域の方もいらっしゃるかもしれませんが、10～20年先の状況も考えて取組みを進めていただきたいと思います。

〈市長〉

例えば小学校6年生の保護者からは、自分の子どもを新しい学校に通わせたいが、開校が1年遅れると通えないからどうにかしろという意見も一方ではいただいています。当然、その意見も市民の意見なのだから聞かないわけにはいかないと思っています。

私としては、やはり小中は分離であるべきと考えております。もし、契約に建設の部分がなかったなら、今からでも設計は白紙に戻していたと断言できます。

ただ、現時点で戸田建設等とは建設工事も含んだ契約を結んでおり、その変更となると議会の議決が必要となります。その変更が議会を通るかどうかは、今日来られている一部の方のほうが私よりむしろ詳しいんじゃないかと思います。

将来的に言えば、無理やりこの建物に市役所機能を持っていくというやり方もできないことはないでしょうけれど、国庫補助やいろんな補助金をもらってやっている事業ですから、原則として、当面は小中一体の義務教育学校としての活用をせざるを得ない状況です。

なお、グラウンドの拡張に関しては先ほどの質問にもありましたが、相手のある話ですので、なかなか面積等の明言はできません。ただ、私はそこまで難易度が高いことだとは思っていません。周辺の地価を考えても平米10万円程度であり、仮に4000平米から5000平米の土地を購入したとしても、4億から5億円程度で、全体の建設費に比べると、グラウンドの拡張費用はそこまで高い金額ではありません。

私もグラウンド面積については懸念しておりますので、是が非でもグラウンドの拡張には取り組みたいと思っていますし、周辺のいきいきランドや私部公園といった施設を有効活用して、できる限り小学校と中学校が一体であることの弊害が生じないようにしたいと思っています。

〈市民3〉

新たな提案がすべて可能であっても、小学校と中学校は別々に整備すべきという意見は変わりません。もし、施設一体型の一貫校ができたとすれば、喜ぶ子どもたちもいると思いますが、私たちが今考えなければならないことは、社会的・経済的に弱い立場の子どもたちのことです。

私は元教員なので、どうしてもいじめの問題、不登校の問題が気になります。もしもいじめや不登校が発生したら、9年間の学校生活の中で子どもたちはどういう思いだろうと考えると、どうしても小中別々にしてほしいです。

私は、市民の声を聞く市長、議会であってほしいと願います。地方政治における二元代表制はもちろん認めますが、議会を傍聴していると、交野の未来の子どもたちのことを考えてもう少し建設的な議論をしてほしいという気持ちでいっぱいです。

施設一体型小中一貫校、9年制の学校が本当に、弱い立場の子どもたちにとって居場所になるのか、交野の子どもたちにとってどんな学校がいいのか、もう一度市民の声

を聞いて、専門家の話を聞いていただきたい。もうすでに議論が尽きたということは、私は無いと思っています。

最後に、市長、議員、教育委員会の皆さんには、専門家も含めて、交野の未来の子どもたちにとって今どんな学校が求められているのか、検討委員会を設置していただきたいと思っています。それは交野の、特に弱い立場の子どもたちのためです。もう結論が出たから今から考えるには及ばないということではないと思います。9年制の学校に通えない子どもがどれだけ出てくるか、それを考えていただきたいと思います。

〈市長〉

契約解除の可否で言えば、違約金を払った後に解除はできます。ですが、解除することが、適法かどうかという話になると、住民訴訟でまだ係争中の話がありますが、明確な判例はありません。交野市では、数代前の市長の時に動物霊園の土地取得に関しての住民訴訟において1億円以上の多額の賠償を命じられたという事実もあります。

また、検討委員会の設置を、ある政党の関係の方がしきりに求められておりますが、本当に皆さんそれで問題解決されると思っているんですか。この検討委員会に契約解除や契約変更をする権限はあるんですか。それがあつたら、私もすぐにやっています。無いからどうするって話になっているという状況でございます。

教育委員会のほうにいろいろ求めている方もいらっしゃいます。教育委員会に契約変更する権限があるなら、私からすぐに契約変更するように言っています。もちろんそういう権限はございません。あるのは議会でございます。

なお、議会につきましては二代表制です。議会の議員の方にご不満をお持ちのようですが、私は現時点において議員ではございませんので、議員の方に直接言ってもらうほうがいいと、市長説明会の場で言うべきものではないと考えております。

確かに小学校と中学校が一緒になることに不安を抱かれる方がいるのも事実だと思っております。これについては、市としても重く受け止めるべきだと思っており、一定何か対応ができないか検討する必要があると思っております。

ただ、例えば9年間一緒という不安の声がある一方で、旧長宝寺小学校はどうだったのか。もしいじめがあつた場合、クラス替えもできない。それは何の問題も無かつたんですか。そういった問題もあるんです。片方は良くて片方は悪いなんて、そんな単純な議論では無いと思います。旧長宝寺小学校でも、いじめがあつたらとんでもない話になっていたと私は思っております。

今回の一貫校では、9年間固定されることが不安としてあるのは確かですが、一方で、クラス替えで対応するといったことも考えられると思っております。

ただ、いじめというのは大変重大な問題であると思っておりますので、市としても検討していきたいと思っております。

〈市民4〉

質問というより意見です。市長は、施設一体校のデメリットはグラウンド、狭い敷地、プールが無いことと言われましたが、何よりも私は1,100人を超える子どもたちが一緒に学習する大規模校であることに非常に問題を感じております。文科省の基準でも27学級なのに、32学級という非常な大規模校です。

今の日本の学校は、いろいろな家庭の子どもにきめ細やかに目配りする力が不足していると全国で言われています。そんな中で、子どもたち一人一人に丁寧に関わっていく学校であってほしい、そんな学校教育が行われるような規模の学校にしてほしいと切実に願っています。

教育の面で大規模校であることの弊害が出ているのは明らかです。なぜ1,100人を超える学校にするのか、怒りにも似た思いを持っております。是非とも検討していただきたい。

また、市長は、校舎は震度6でも耐える学校だから大丈夫だと言われましたが、地震が起こったときに、2階から4階の子どもたちが階段を使ってグラウンドへ降りていかなければならないことを想像してください。

小規模な学校で是非ともやってほしい。市長が公約で掲げた小中別々の学校で整備するというを議会にかけていただき、議員がどういう反論、意見を出されるのか市民としてしっかり見届けたいという思いでいます。

〈市長〉

大規模校が一概に駄目かという、私はそういうふうには思っておりません。人数だけで判断するのではなく、面積や建物の状況などトータルで考えるべきであり、基準がどうではなくて実際の状況がどうなのか、もっと冷静に分析をするべきだと思っております。

なお、施設一体型小中一貫校については、建物の面積は1万6000平米で逆に広すぎる状況です。体育館も相当広い一方で、グラウンドはあまり広くない。私はグラウンドについては何としても広くしたい、広くすべきだと考えている次第でございます。

議会に提出する内容についてもご意見をもらっておりますけれども、2月15日が議会運営委員会ですので、現時点でそれに関して回答ができない状況であることについてはお許しください。

なお、私の耳には、皆さんのお友達のグループの方が請願を出されると入ってきておりますので、議員がどういう態度表明をするかについては、私が何を提出するかにかかわらず、明らかになるものと考えております。

〈市民5〉

私は現職で校長をやっています。他市ではありますが、4年間、施設一体型義務教育学校でも校長をしていました。

市長は小中一貫校の「メリット・デメリット」についてと書かれていますが、まず、ハード面とソフト面は分けて書いてほしかったと思います。

また、私は、小中一貫教育にデメリットは無いと考えています。もちろん、課題はたくさんあります。例えばここに書かれているような高学年のリーダー性だとか、安全面とか、子どもたちが交流してどうなるのか。それから、不登校の問題やいじめの問題なども先ほどからたくさん言われていました。

私は小学校と中学校別々にも勤務していたことがありますが、一つ例を挙げますと、兄弟のいる家庭でのネグレクトや虐待経験のある子どもに対しては小学校と中学校の先生が連携を図り、例えば家庭訪問を一緒にしたり、いろんな支援をしたりして、実際に私が勤めていた学校では、不登校の数が減りました。

ただ、もちろん学校の先生だけではできません。地域の皆さんや民生委員さんとも協力しながら、子どもたちの支援に努めてきたのが、私の実体験です。

また、小学校と中学校にはそれぞれに特別支援学級があります。この引継ぎは、学校が別れていると先生にも保護者にも大変負担のあるものですが、小中一貫の施設一体型になりますと、常に小学校の先生も中学校の先生もその子たちを見ています。保護者の不安は、開校までは多く聞かれましたが、その後は非常に好意的な感想をいただきました。

施設面で小学校と中学校の子どもたちが混在する点については、当初、大きい子と小さい子がぶつかると危ないということも想定して、仕切りをつくって交流しないように考えていましたが、中学生は捨てたものではありません。小学生をいじめていたらカッコ悪いです。体調が悪くて保健室で寝ている中学生も、小学生が泣きながら入ってきたら場所を譲ります。それくらい、私たちの想像を超えた子どもたちの成長が見られました。

確かに教育課題はたくさんあります。時程の問題、運動場の活用の問題、それらはすべて課題です。そこも含めて、例えば保護者や校区福祉委員会の方々と協力して、地域の学校をつくっていく。今、交野はコミュニティースクールをつくらうとしています。今までの学校がなくなって寂しい思いをされている方々は、そういう活動に是非協力していただければと思っています。

市長にはぜひ、これらを分けて考えていただいて、デメリットではなく教育課題等のメリットをたくさん書いてほしいと思っています。

〈市長〉

今後、保護者の説明会もありますので、そういった意見も含めてしっかりと保護者の方にもご説明していきたいと思えます。ありがとうございます。

〈市民6〉

6ページのスケジュールについて、最初の説明会で、3月がタイムリミットだとおっしゃっていたと記憶していますが、それは今でも変わらないのでしょうか。

また、登下校の見守りは最長で令和9年まで続くのでしょうか。

〈市長〉

3月に議会が開かれるということと、4月頃から建設に関わる工事も始まるということがありましたのでリミットは3月という言い方をしております、現在においてもそこは変わっていません。

もう一つの見守りですが、現時点においてみらい小学校の校区に関しては公費で5ヶ所の見守りを実施しています。併せて、他のいろんな地域の方の見守りも実施しております。

来年度に関しては、みらい小学校に加えて、岩船小学校に通っている児童もいるので計6ヶ所にしますし、一方で他の校区の皆様からもいろいろなご意見をいただいておりますので、各小学校に最低1ヶ所は公費での見守りを実施します。

令和7年の4月以降については、改めて検討が必要だと思っております。というのも、現時点においてどの案にするということが決まっているわけではありません。仮に小中分離型にすると予定が2年遅れるわけですから、その間の見守りについては当然対応が必要でございますし、一貫校であれば、みらい小学校で実施している5ヶ所ないし6ヶ所は一旦やめたうえで、旧長宝寺小学校に通っている児童についてはどうするのか、改めて検討したうえで見守りについては決めるべきと思っております。

私の希望としては、できれば各校最低でも2ヶ所の見守りは付けたいと思っております。小学校までの距離に応じて学校選択制を取り入れるかどうかなど含め、いろいろな意見がありますので、改めて検討したいと思っております。

少なくとも、子どもたちの見守りによる安全確保が図れるように、また全体としての公平性が保たれるように、市としては最大限努力していきたいと思っております。